

地域企業の価値向上・地域活性化のための アドバイスとファイナンス



【財務部】

NO.2

第一部 基調講演

「地域企業の価値向上・地域活性化のために」をテーマに講演が行われました。

多胡氏は、「リレーションシップバンキングが顧客本位の持続可能なビジネスモデルの本質」であり、地域金融がリレーションで成り立っていることについて具体的かつ明快に説明しました。さらに、企業への適切な金融仲介と本業支援や事業再生も含めたリレーションシップバンキングを面的に展開すべきであると述べた一方で、顧客サイドも顧客本位と自己中心の金融機関とを判別する

目利き力を高め、「正しい金融機関の選び方」の浸透が必要とも述べました。最後は、「リレーションシップバンキングはESGの思想と全く同じである。ESGの視点なくして『地域の持続的な成長』『顧客本位の持続可能なビジネスモデルの構築』『顧客との共通価値の創造』にはつながっていかない。ESG金融にしっかりと取り組んでいる銀行であれば、株式市場からも評価される。」と述べ講演を締めくくりました。



第二部 パネルディスカッション

「地域企業の価値向上・地域活性化のためのアドバイスとファイナンス」について、現状の課題・評価や、今後取り組む方向性について討論が行われ、パネリストから、「地域企業の価値向上・地域活性化のためのアドバイスとファイナンス」の実現に向けて最も重要となるキーワード

また、経営トップのコミットメントの重要性について、会場の参加者からも「金融機関のトップは、仮に10年程度の影響力があるとすれば、その期間に企業の課題解決に向けて何をやるか展望を持ち、地域を支えていくためにやっていた方がいい。」との意見が提起されるなど、会場一体となった討論が行われました。最後に、コーディネーターの西里氏は、「金融機関、支援機関、企業の皆様方が今日のパネルディスカッションで新たな気づきを得て、地域企業の価値向上に向けて取り組んでいくことを期待したい。」と述べ全体を締めくくりました。



財務部では、「企業・経済の持続的成長と安定的な資産形成等による国民の厚生増大」という金融行政のミッション達成に向け、パネリストをはじめとした皆様からのご提言を踏まえながら、地域金融機関における組織的・継続的な地域企業への支援に向けた取り組みについての確な検査・監督を進めてまいります。

財務部金融監督課

0968-8661-0065

リレーションシップバンキングとは…

長期継続する関係の中から、借り手企業の経営者の資質や事業の将来性等についての情報を得て、融資を実行するビジネスモデル。

ESGとは…

環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。

「金融仲介の改善に向けた検討会議」とは…

金融庁に設置されている同会議では、企業・産業の生産性向上や新陳代謝の促進への貢献、金融機関における担保・保証依存の融資姿勢からの転換などを主なテーマとして、金融仲介のあるべき姿等について外部有識者による議論が進められています。同会議の議事要旨等が金融庁ウェブサイト公表されておりますので、詳しくは、<http://www.fsa.go.jp/singi/kinyuchukai/index.html>をご覧ください。

【パネリストから発表されたキーワードとその趣旨説明】

- 上地氏 「ビジネスパートナーとしての金融機関」→金融機関は中小企業・小規模事業者にとってビジネスパートナーであっていただきたい。
- 喜納氏 「対話」→対話を重視して、あるべき姿に向かって一歩一歩進んでいく事が大切だと考えている。
- 伊波氏 「利他」→まずお客様の利益を考え、その結果が共通価値の創造につながる。
- 伊志嶺氏 「行員の達成感」→お客様のためになるよう、できる可能性をギリギリまで考え、壁を乗り越える達成感を多くの行員に味わってもらいたい。
- 多胡氏 「ヒューマンアセット」→企業と金融機関との共通価値の創造を考えていくうえで、企業も金融機関も従業員という無形資産が重要である。